

有意義な夏を過ごしていますか？～新米校長の1学期～

校長 竹中 朝崇

暑中お見舞い申し上げます。言葉にしてはいけないのですが、「暑いですね。いや暑すぎますね。」と口にしてしまいます。ある番組で「今は四季ではなく、五季（春・夏・猛暑・秋・冬）と考え対応する企業があります。」と言っていました。想像以上に暑い今年の夏。これから暦の上では「立秋」を迎えるとはいいますが、この後も暑い日は続きます。熱中症の他、夏バテに注意しながら過ごしたいものです。

今回は1学期を終えて私が感じたこと、いや自分の反省でしょうか、述べたいと思います。今年3月下旬、校長室に入る準備をして4月を迎えました。正直なところ、今も校長室に入れようとしていた私の荷物は片付いていません。原因は9年前の資料が出てくるので、資料の整理が間に合わないというもの。学校は生きていますので日々進みます。日々の業務をこなすのに精一杯で心にゆとりはありませんでした。部屋にいてふと見上げると、歴代校長の写真に見守られながらの生活です。校長にしかできない業務があります。今までの教員の経験だけでは通用しない、景色の違う光景に戸惑うことも多く、自分自身が勉強を常にしなければとの思いを強く持ちました。まさに新米校長という言葉がぴったりの1学期であったという感想です。何となく校長室が広い理由もわかります。生徒の皆さんは今、夏休み真っ只中ですが、教職員は関係ありません。もちろん、休む時期も作りますが、出勤しながらやるべきことはあります。そこで私はこの夏の時期に校長室の整理をすることと当然、仕事に必要な本をはじめとした読書をする決めました。時間を見つけて取り組む予定です。

ということで夏休みと言えど…。皆さん、今、どのように過ごしていますか。暑くて外に出たくないという人も多いはず。私は毎日学校にいますので、部活動に励む生徒の声が聞こえてくると、「暑さ対策をしっかりしてね。」と思いつつ、青春を謳歌しているなと勝手に思っています。中には自習するために学校に来る生徒もいます。人それぞれの過ごし方をしているでしょう。こうして今、学校だよりを作成し生徒や保護者の皆様に配信していますが、昔と違い今はアプリを使いながら学校とつながることができます。これは良い面もあれば、悪い面もあるのかなと感じています。ただ一つ言えることはすべての行動は皆さん次第ということです。終業式の私の話の中で「時は金なり」という言葉を使いながら夏休みの過ごし方を考えましようとお伝えしました。学校が止まるこの時期を有効に使う。しかし、そろそろ計画が崩れ心に隙が出てくる頃ではないですか。人は弱いものです。やるべきことと手を抜くこと、つまり On と Off を上手に使い分けるよう、もう一度夏の計画を見直しして修正しましょう。基本的な行動ができるということは、習慣が身についているかどうかで決まります。長い休みの時期、習慣を身につけるいい機会ではないでしょうか。遊び心を忘れず、有意義な夏を過ごして欲しいと願っています。

この夏休みに全国大会に出場した生徒の皆さんの活躍ぶりを私はいかががっています。地域の行事に参加し支えてくれる生徒もいます。学校は8月27日（火）末から再開されます。暑さが残る中のスタートとなるでしょう。心身の健康を整え、2学期に備えてください。引き続き、熱中症や感染症への予防に気をつけながら、良い夏を過ごしてください。